

広報
No.9
夏号

県立海部病院

病院機能評価 Ver.5.0 認定病院

リハビリ室・栄養管理科・事務局のスタッフです



— 県立病院事業基本理念 —

県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

*** 目次 ***

- 院長就任ご挨拶..... 1
- 県立海部病院医師紹介..... 1
- 産婦人科からのお知らせ..... 1
- 寄附講座が始まりました..... 2
- CT装置が新しくなりました..... 2
- 脳卒中・リハビリ外来始めました..... 3
- リハビリ室の日々是運動..... 3
- 夏を元気に乗り切りましょう..... 3

院長就任 挨拶

徳島県立海部病院院長 坂東 弘康



平成 22 年 4 月 1 日付で徳島県立海部病院の院長に就任いたしました。専門は内科（呼吸器科）でございます。

当院は、昭和 38 年に牟岐町から委譲されて以来、47 年余にわたり公立病院に課せられた使命として、県南地域における急性期医療、救急医療、僻地医療などに取り組んで参りました。

しかしながら、全国的な問題となっております医師不足や地域偏在などにより、医師の確保が困難となっております。私も平成 17 年度から県立中央病院の一医師として毎週当院で応援診療を開始し、翌 18 年度には副院長として 1 年間当院に在籍するなど、その後も診療支援を継続しましたが、その間も医師不足は進行しました。

今回、徳島県の寄附講座として「総合診療医学分野」から谷教授、河野講師、本浄助教が、また、「地域産婦人科診療部」からは古本教授、岩佐助教、阿部助教がそれぞれ赴任されました。当院における診療の充実や「お産」の再開が期待されております。

このたびの人事異動や寄附講座の開設等を機に、「がん診療」、「呼吸器診療」における県南地域の中核となるとともに、「訪問診療」や「リハビリテーション」の分野も充実させて参りたいと考えております。

また、平成 20 年度から地域の皆様方にご迷惑をおかけしている、土曜日の救急診療の休止に関しましては、出来るだけ早い時期の再開を目指して、引き続き、医師確保、看護師確保に努力して参ります。

今後とも住民の皆様方から「選ばれる病院」になるため、また医療スタッフからも「選ばれる病院」になるため、全職員がファインチームワークで取り組みを進めて参りますので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

県立海部病院 医師紹介



大田 憲一 副院長
外科

「親身の医療」「愛と誠の医療」が原点です。



浦岡 秀行 整形外科部長
整形外科

地域の整形外科の基盤を支えられるよう努力します。



山口 普史 内科医長
内科（循環器）

できるだけ広い視野で診療にあたりたいと考えております。一般内科医として地域医療に貢献できるよう努力したいと思っております。



川人 愛 医師
内科

H21. 4月から勤務しております。まだまだ未熟者ですが、がんばりますのでよろしくお願いいたします。



阿部 あかね 医師
内科

H22. 4月から海部病院勤務となりました。真摯な姿勢で地域医療に取り組みたいと思います。



産婦人科からのお知らせ

産婦人科では、H22. 4月から、月曜日から金曜日の間、外来診療を実施するとともに、24 時間勤務体制を確保しております。

また、外来診療では、子宮がん検診や子宮頸がん予防ワクチンの接種も行っておりますので、ご利用ください。

寄附講座が始まりました

寄附講座とは、診療体制の充実と地域医療を担う医師の育成を図るため、県と徳島大学が連携して開設した講座のことです。

これにより、「総合診療医学分野」の内科医3名と「地域産婦人科診療部」の産科医3名が当院で診療にあたっております。産婦人科については、平成19年9月以降、分娩を休止しておりましたが、現在、分娩再開に向けた準備をすすめているところです。

〈総合診療医学分野〉



谷 憲治 教授



河野 光宏 講師



本淨 晃史 助教



古本 博孝 教授



岩佐 武 助教



阿部 彰子 助教

〈地域産婦人科診療部〉

CT装置が新しくなりました

— 患者さんに優しい検査が行えます —

平成22年3月に新しい「16列マルチスライスCT装置」に更新しました。当院のマルチスライスCT装置には次の特徴があります。

X線の検出器が複数並んでおり、一度に広範囲を撮影可能です



1. 検査時間の短縮

患者さんの息止め時間が非常に楽になりました（胸は6秒、腹は9秒）。

2. 高精細な画像作成

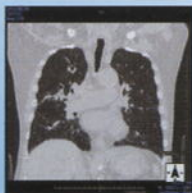
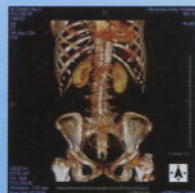
検査時間の短縮だけでなく、厚さ最小0.75mmの画像作成が可能です。

3. 多彩な造影検査

正確に動脈と静脈に分けて撮影でき、病気の特徴に応じた検査が行えます。

4. 被ばくを低減

患者さんの体格に合わせてX線の量を調整します。



これからも「より良い検査」ができるよう、**努力と工夫**を重ね、頑張っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

脳卒中・リハビリ外来始めました

脳卒中後の麻痺、嚥下障害・高次脳機能障害、パーキンソン病などの神経障害・認知症など急性期の骨折以外のリハビリを幅広く診察します。

- 診察日：毎週木曜午前
- 場所：整形外科外来
- 担当医：河野光宏 医師
- 問い合わせ先 (TEL)：72 - 3505

リハビリ室の日々是運動〈スクワット〉

- 椅子に腰をかけるように、お尻をゆっくりおろしましょう。
- お尻を軽く下ろすところから始めて、膝は曲がっても90度を超えないようにしましょう。

深呼吸をするペースで5～6回繰り返します。

これを1日3回行ってください。

痛みを感じた場合は、お尻を下ろし過ぎないようにしたり、机などを支えに使ったりしてみてください。

ポイント

- 膝がつま先より前に出ないようにします。
- 膝の曲がる向きは、足の第2趾の方向にします。
- 足は踵から30度くらい外に開きます。
- 体重が足の裏の真ん中にかかるようにします。



夏を元気に乗り切りましょう！

暑くなり、汗をたくさんかく時期には水分の補給が大切です。しかし、甘い飲み物をとりすぎたり、一度に大量に飲んだりすると食欲が落ちてしまいます。栄養不足は夏バテの原因になるので注意が必要です。食べ物や飲み物に気を配り、暑い夏を元気に過ごしましょう。

夏バテを予防する食事



★ たんぱく質を必ずとりましょう。

暑いときによく食べるのは、そうめんや冷麦などの麺類になりがちですが、これだけでは栄養が偏っています。肉・魚・卵・豆腐などのたんぱく質を必ず一緒にとりましょう。食欲がなくて、肉や魚を食べる気がしない時は、枝豆や豆腐などでとるのもよいでしょう。

★ 冷たいものをとり過ぎないようにしましょう。

暑い時期は、ジュースやアイスなど冷たい飲み物や食べ物についつい手がでてしまいがちです。でも、これらをとりすぎると、胃腸をこわしたり、食欲がなくなったりしてしまふことがあります。冷えを増長する冷たいものは控えて、温かいお茶などを飲むようにすると効果的です。

★ 新鮮な野菜・果物をたっぷりとりましょう。

太陽をいっぱい浴びて育った夏の野菜には、ビタミン類がいっぱいです。生で食べたり、簡単にゆでたりするだけで調理がすむものも多いですね。暑くなると、汗と一緒にビタミン類も流れ出してしまうので、是非夏には夏生まれのパワーをたくさんとりましょう。

(枝豆・トマト・きゅうり・とうもろこし・オクラ・ゴーヤ・大葉・みょうが・らっきょう・モロヘイヤなど)

★ 香辛料を上手に使って食欲増進をはかりましょう。

ショウガ・わさび・こしょうなどの香辛料、しそ・みょうが・ねぎなどの香味野菜は食欲を刺激します。ただし、使いすぎは弱った胃腸には負担になるので注意しましょう。

■ 発行日 平成22年7月1日

■ 発行 徳島県立海部病院広報委員会 〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1
TEL: 0884-72-1166 FAX: 0884-72-2383 HP: <http://www.tph.gr.jp/~kaifu>